

みずほCustomer Desk Report 2022/12/23 号 (As of 2022/12/22)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	132.24 AUD/USD
TKY 9:00AM	132.40	1.0607	140.42	1.2077	0.6712
SYD-NY High	132.72	1.0659	140.66	1.2146	0.6767
SYD-NY Low	131.65	1.0573	139.99	1.1993	0.6650
NY 5:00 PM	132.38	1.0600	140.15	1.2037	0.6669

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,027.49	▲ 348.99	日本2年債	0.0000%	0.0100%
NASDAQ	10,476.12	▲ 233.25	日本10年債	0.3900%	▲0.0900%
S&P	3,822.39	▲ 56.05	米国2年債	4.2778%	0.0556%
日経平均	26,507.87	120.15	米国5年債	3.8054%	0.0279%
TOPIX	1,908.17	14.85	米国10年債	3.6851%	0.0129%
シカゴ日経先物	26,140.00	▲ 315.00	独10年債	2.3630%	0.0625%
ロンドンFT	7,469.28	▲ 28.04	英10年債	3.5890%	0.0190%
DAX	13,914.07	▲ 183.75	豪10年債	3.7730%	0.0360%
ハンセン指数	19,679.22	518.73	USDJPY 1M Vol	12.68%	▲0.40%
上海総合	3,054.43	▲ 13.98	USDJPY 3M Vol	12.40%	0.24%
NY金	1,795.30	▲ 30.10	USDJPY 6M Vol	11.55%	0.09%
WTI	77.49	▲ 0.80	USDJPY 1M 25RR	▲1.70%	Yen Call Over
CRB指数	273.64	▲ 2.57	EURJPY 3M Vol	11.71%	0.18%
ドルインデックス	104.43	0.27	EURJPY 6M Vol	11.29%	0.17%

東京	東京時間のドル円は132.40レベルでオープン後、日米金利差縮小の動きに追随する形で131.65まで下落。午後は、小幅戻す場面も見られたが132円は上回れず131円台後半で揉み合い、131.80レベルで海外時間へ渡った。OISマーケットでは、FRBは来年半ば以降、利下げに転じると予想されている一方、BOJに関しては来年末まで連続で利上げが織り込まれるなど、円高サイドへの警戒感が高まりやすくなっている。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、131.80レベルでオープン。ドルが全般的に強い中、ドル円は132円を挟んで動意薄。132.10レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2124レベルでオープン。朝方発表の英第3四半期GDPの確報値が下方修正されたこともあり、不況懸念からポンドは下落圧力が強かった。1.2040まで下落し1.2057レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は132円台半ばでスタート。前日高値(132.53)手前で上値の重さが確認されると見切り売りが強まり、131.65まで反落。欧州時間ではじりじりと買い戻され、132.10レベルでNYオープン。朝方は米国7-9月期のGDPやコアPCE(確定値)が上方修正されたことから米金利が上昇し、ドル円も買いで反応。海外時間で上値を抑えられた前日高値(132.53)を上抜けるとストップロス巻き込みながら一時的に132.72まで上昇。しかし、その後米金利が伸び悩んだことや米株の軟調推移で下落したクロス円が重しとなり、132円台前半まで反落。午後は米金利の持ち直したことからドル円も小幅反発し、結局、132.38レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.06前半でスタート。米金利低下局面で一時1.0659まで上昇するも、戻り売りに押され、1.0637レベルでNYオープン。朝方は米株安・債券安でリスクオフのドル買い優勢となり、じりじりと下落し、1.05レベル後半まで沈む。ユーロ円の軟調推移にも上値をアップされ、午後に安値1.0573をつける。終盤には買い戻しが入るが、小幅の反発に留まり、結局、1.0600レベルでクローズ。

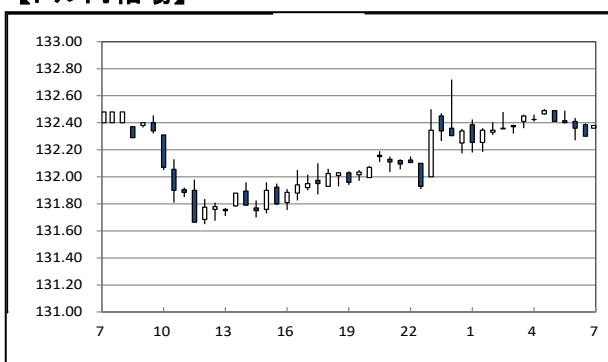
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月22日	16:00	英 GDP(前期比/前年比)・確報	3Q -0.3%/1.9%	-0.2%/2.4%
	16:00	英 個人消費(前期比)・確報	3Q F -1.1%	-0.5%
	22:30	米 GDP(年率/前期比)	3Q T 3.2%	2.9%
	22:30	米 個人消費	3Q T 2.3%	1.7%
	22:30	米 コアPCE(前期比)	3Q T 4.7%	4.6%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	17-Dec 216k	222k

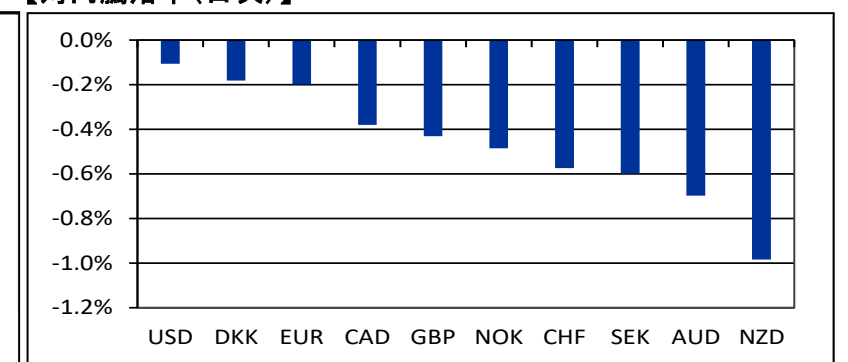
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月23日	08:30	日 全国CPI/全国コアCPI/全国コアコアCPI	11月 3.9%/3.7%/2.8%	3.7%/3.6%/2.5%
	22:30	米 PCEデフレーター(前月比/前年比)	11月 0.1%/5.5%	0.3%/6%
	22:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	11月 -1.0%	1.1%
	22:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	11月 0.0%	0.5%
12月24日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	12月 59.1	59.1
	00:00	米 新築住宅販売件数	11月 600k	632k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	131.50-133.00	1.0500-1.0700	139.00-142.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円はほぼ横ばい。アジア時間帯は明確な材料がない中で、上値の重い展開となり131.65まで下落した。欧州入り以降はじりじりと水準を戻し、132円台を回復。その後、米7-9月期GDPなどが上方修正されたことで一時132.72まで上昇した。その後、すぐに水準を戻し、132.38でクローズした。本日のドル円は、引き続き、神経質な展開が続くと思われる。好調な米指標を受けてもドル買いは限定的となっており、次回1月18日のBOJが次の中銀イベントと踏まえると、素直にドル買い反転には向きづらい状況であり、ドル円は方向感の乏しい展開になるとと思われる。ただし、クリスマス休暇で市場流動性が薄い中で、値動きが激しくなる点には留意したい。
--

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 甲斐・松永